

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-345187

(43)Date of publication of application : 14.12.1999

(51)Int.Cl. G06F 13/00  
 G06F 13/00  
 G06F 3/00  
 H04L 12/54  
 H04L 12/58

(21)Application number : 10-167725

(71)Applicant : NIPPON TELEGR & TELEPH  
 CORP <NTT>

(22)Date of filing : 01.06.1998

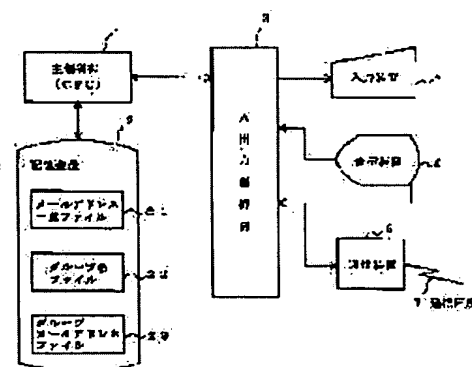
(72)Inventor : SAKAMOTO AKIRA

(54) METHOD FOR GENERATING ELECTRONIC MAIL ADDRESS FOR TRANSMISSION  
 AND RECORDING MEDIUM WITH ELECTRONIC MAIL ADDRESS GENERATING PROGRAM  
 FOR TRANSMISSION RECORDED THEREIN

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To enable a beginner to easily apply the mail address of the transmission destination by improving conventional complicated operation when transmitting an electronic mail.

SOLUTION: This method is provided with a mail address list file 21 composed of one line for a name column, check box, note column and mail address column, group name file 22 for managing group names and group mail address file 23 for managing a group mail address for each group name. When transmitting an electronic mail, the file 21 is displayed but without displaying the mail address column and by applying a check mark to the check box column while referring to the name column and note column, so that a user can select the mail address of the relevant line. Moreover, the once selected group mail address is registered in the file 23 and only by designating the group name in the file 22, the relevant file 23 is used to select the destination mail address.



(TRANSLATION)

Our Ref.: OP1113-US

Cited Document 2:

Japanese Patent Laid-Open Publication No. 11(1999)-345187

Laid-Open Date: December 14, 1999

Patent Application No. 10(1998)-167725

Filing Date: June 1, 1998

Applicant: 000004226

NIPPON DENSIN DENWA KABUSHIKI KAISHA

(English: NIPPON TELEGRAM & TELEPHONE CORP. - NTT)

Chiyoda-ku, Tokyo, Japan

Inventor: Akira Sakamoto

all c/o Nippon Telegram & Telephone Corp. - NTT

Shinjuku-ku, Tokyo, Japan

Title: METHODFOR GENERATING ELECTRONIC MAIL ADDRESS FOR  
TRANSMISSION AND RECORDING MEDIUM IN WHICH RECORDED  
ELECTRONIC MAIL ADDRESS GENERATING PROGRAM FOR TRANSMISSION

- - - - -

**Partial Translation: Paragraph [0016]**

[0016]

Fig. 3 is a diagram illustrating an example of constituting the group name file 22. The group name file 22 is a file in which, when the user once performed a multiple-address transmission of a mail (cc, Bcc), a unified group name 221 is given to the plurality of destinations and managed therein. The group name may be given arbitrary by the user. When a mail is again made for the multiple-address transmission, the user simply displays the group name file 22 and selects the group 221.

/ / / / / / / / / LAST ITEM / / / / / / / / /

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-345187

(43) 公開日 平成11年(1999)12月14日

(51) Int.Cl. <sup>9</sup>	識別記号	F I	
G 0 6 F 13/00	3 5 4	G 0 6 F 13/00	3 5 4 D
	3 5 1		3 5 1 G
3/00	6 5 4	3/00	6 5 4 A
			6 5 4 D
H 0 4 L 12/54		H 0 4 L 11/20	1 0 1 B

審査請求 未請求 請求項の数 8 F D (全 8 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願平10-167725

(22) 出願日 平成10年(1998)6月1日

(71) 出願人 000004226

日本電信電話株式会社

東京都千代田区大手町二丁目3番1号

(72) 発明者 坂本 章

東京都新宿区西新宿三丁目19番2号 日本

電信電話株式会社内

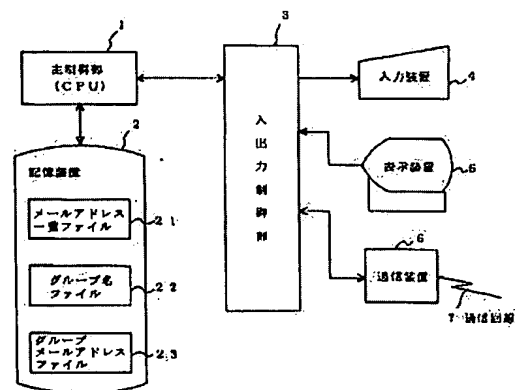
(74) 代理人 弁理士 鈴木 誠

(54) 【発明の名称】 送信用電子メールアドレス生成方法及び送信用電子メールアドレス生成プログラムを記録した記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 電子メールを送信するとき、従来の煩雑な操作を改善し、初心者でも簡単に送信先のメールアドレスを付与できるようにする。

【解決手段】 一行を氏名欄、チェックボックス、メモ欄及びメールアドレス欄からなるメールアドレス一覧ファイル21、グループ名を管理するグループ名ファイル22、グループ名ごとにグループメールアドレスを管理するグループメールアドレスファイル23を設ける。電子メールを送信する時、メールアドレス欄を非表示としてファイル21を表示し、ユーザが氏名欄、メモ欄を参照してチェックボックス欄にチェックマークを付すことにより、該当行のメールアドレスを選択する。また、一度選択したグループメールアドレスをファイル23に登録し、ファイル22でグループ名を指定するだけで該当ファイル23を使用して宛先メールアドレスを選択する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 電子メールを送信するときの宛先メールアドレスを生成する送信用電子メールアドレス生成方法であって、

一行が少なくとも氏名、チェックボックスおよびメールアドレスの各欄からなる表形式のメールアドレス一覧ファイルを設け、

前記メールアドレス一覧ファイルの氏名欄、チェックボックス欄を表示し、

利用者が氏名欄を参照してチェックボックス欄にチェックマークを付すことにより、該当行のメールアドレスを電子メールの宛先メールアドレスとすることを特徴とする送信用電子メールアドレス生成方法。

【請求項2】 メールアドレス一覧ファイルに、氏名欄の類似氏名を区別するためのメモ欄を追加し、該メモ欄を氏名欄、チェックボックス欄とともに表示することを特徴とする請求項1記載の送信用電子メールアドレス生成方法。

【請求項3】 メールアドレス一覧表示画面に、送信種別を区分するボタンを設け、利用者が前記ボタンを選択することにより、チェックマークの付された行の氏名欄を、送信種別に応じて色分け表示することを特徴とする請求項1、2記載の送信用電子メールアドレス生成方法。

【請求項4】 メールアドレス一覧表示画面のチェックボックス欄にチェックマークの付された行を自動スクロールし、送信種別の区分順に並べ替えて表示することを特徴とする請求項3記載の送信用電子メールアドレス生成方法。

【請求項5】 メールアドレス一覧表示画面でチェックマークの付された行を集めてグループメールアドレスファイルを生成し、それに任意のグループ名を付して格納し、再度同じグループの者にメールを同報送信する場合、グループ名を指定することで、対応するグループメールアドレスファイルより宛先メールアドレスを生成することを特徴とする請求項1乃至4記載の送信用電子メールアドレス生成方法。

【請求項6】 グループメールアドレスファイルの内容を変更する場合、当該グループメールアドレスファイルとメールアドレス一覧ファイルを照合し、前記グループメールアドレスファイルに登録されている氏名の該当行のチェック欄にチェックマークを付してメールアドレス一覧ファイルを表示し、該チェックマークの変更・削除、あるいは新規登録を行い、最終的にメールアドレス一覧表示画面でチェックボックス欄にチェックマークの付された行を集めて変更後のグループメールアドレスファイルを生成することを特徴とする請求項5記載の送信用電子メールアドレス生成方法。

【請求項7】 変更後のグループメールアドレスファイ

ルとメールアドレス一覧ファイルを照合し、新規登録された行をメールアドレス一覧ファイルに追加することを特徴とする請求項6記載の送信用電子メールアドレス生成方法。

【請求項8】 請求項1乃至7記載の送信用電子メールアドレス生成方法の一部又は全部の処理手順を記述した送信用電子メールアドレス生成プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、パソコンやワークステーションにより電子メールを送信する場合、宛先（送信先）メールアドレスの付与方法の操作簡便化・送信先間違い防止効果を上げる方法に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】 従来、電子メールを送信する場合の宛先メールアドレス付与方法は、一人ひとりの電子メールアドレスを直接投入したり、グループ化するために一人ひとりの電子メールアドレスを探してグループ用の器にコピーするなどして、送信先の電子メールアドレスを付与方法しかなかった。つまり、送信先の電子メールアドレスを探すのに時間が掛かったり、コピーする際に時間がかかったり、グループ送信者全体の確認に手間がかかるなど特に頻繁に電子メールを利用するユーザにとっては、稼働を多く要する欠点があった。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 本発明の目的は、電子メールを送信するとき、初心者でも簡単に送信先のメールアドレスの付与ができるように、従来の煩雑な操作等を改良した、送信用電子メールアドレス生成方法及び送信用電子メールアドレス生成プログラムを記録した記録媒体を提供することにある。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するために、請求項1の発明は、電子メールを送信するときの宛先メールアドレスを生成する送信用電子メールアドレス生成方法において、一行が少なくとも氏名、チェックボックスおよびメールアドレスの各欄からなる表形式のメールアドレス一覧ファイルを設け、前記メールアドレス一覧ファイルの氏名欄、チェックボックス欄を表示し、利用者が氏名欄を参照してチェックボックス欄にチェックマークを付すことにより、該当行のメールアドレスを電子メールの宛先メールアドレスとすることを特徴とする。

【0005】 請求項2の発明は、メールアドレス一覧ファイルに、氏名欄に類似氏名を区別するためのメモ欄を追加し、該メモ欄を氏名欄、チェックボックス欄とともに表示することを特徴とする。

【0006】 請求項3の発明は、メールアドレス一覧表示画面に、送信種別を区分するボタンを設け、利用者が

前記ボタンを選択することにより、チェックマークの付された行の氏名欄を、送信種別に応じて色分け表示することを特徴とする。

【0007】請求項4の発明は、メールアドレス一覧表示画面のチェックボックス欄にチェックマークの付された行を自動スクロールし、送信種別の区分順に並べ替えて表示することを特徴とする。

【0008】請求項5の発明は、メールアドレス一覧表示画面でチェックマークの付された行を集めてグループメールアドレスファイルを生成し、それに任意のグループ名を付して格納し、再度同じグループの者にメールを同報送信する場合、グループ名を指定することで、対応するグループメールアドレスファイルより宛先メールアドレスを生成することを特徴とする。

【0009】請求項6の発明は、グループメールアドレスファイルの内容を変更する場合、当該グループメールアドレスファイルとメールアドレス一覧ファイルを照合し、前記グループメールアドレスファイルに登録されている氏名の該当行のチェック欄にチェックマークを付してメールアドレス一覧ファイルを表示し、該チェックマ

ークの変更・削除、あるいは新規登録を行い、最終的にメールアドレス一覧表示画面でチェックボックス欄にチェックマークの付された行を集めて変更後のグループメールアドレスファイルを生成することを特徴とする。

【0010】請求項7の発明は、変更後のグループメールアドレスファイルとメールアドレス一覧ファイルを照合し、新規登録された行をメールアドレス一覧ファイルに追加することを特徴とする。

【0011】請求項8の発明は、上記請求項1乃至7記載の送信用電子メールアドレス生成方法の一部又は全部の処理手順を記述した送信用電子メールアドレス生成プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体を提供することを特徴とする。

【0012】

【発明の実施の形態】以下、本発明の一実施の形態について図面により詳しく説明する。図1は、本発明の送信用電子メールアドレス生成方法が適用されるコンピュータのハードウェア構成図である。システム全体を統括的に制御する主制御部（以下、CPUと略称する）1には記憶装置2が接続され、更に、入出力制御部3を介して、キーボードやマウス等からなる入力装置5、モニタ用の表示装置5、および、通信アダプタやDSUなどの通信装置6が接続されている。通信装置6には通信回線7が接続され、本実施形態では電子メールの送受信が行われる。

【0013】CPU1は、OS等の制御プログラム、当該送信用電子メールアドレス生成方法手順を規定したプログラム（以下、送信用電子メールアドレス生成プログラムと称す）、および、処理途中データ等を格納するためのメモリを内蔵している。記憶装置2はハードディス

クなであり、メールアドレス一覧ファイル21、グループ名ファイル22、および個々のグループ名対応のグループアドレスファイル23が格納されている。

【0014】図2は、メールアドレス一覧ファイル21の構成例を示す図である。メールアドレス一覧ファイル21は各送信先のメールアドレスの一覧を格納したデータベース（メールアドレス元帳）であり、本実施形態では一行は送信相手（宛先）の氏名欄211、宛先選択用のチェックボックス212、類似氏名等を区分するためのメモ欄213、およびメールアドレス欄214からなる。ここで、氏名欄211とメールアドレス欄214は従来の所謂アドレス帳と同様であるが、チェックボックス212とメモリ欄213が追加されている点が従来のアドレス帳と相違する。該メールアドレス一覧ファイル21を表示する際、メールアドレス欄214は非表示（ブランド）とする。利用者は、送信先メールアドレスを選択する場合、該当氏名が記された氏名欄211の隣のチェックボックス212をクリックすることにより選択する。これにより、だれでも初心者でも簡単に、メールアドレスをまったく意識することなく送信相手（宛先）を選択できる。また、この時、メモリ欄213を参照することで、類似氏名等の者を誤って選択することも防止できる。

【0015】記憶装置2上のメールアドレス一覧ファイル21の内容は、通常、利用者により新規登録、変更、削除が行われるが、メールを受信した際、それに記されている送信元メールアドレスが未登録の場合に自動的に追加できるようにしておく。

【0016】図3は、グループ名ファイル22の構成例を示す図である。グループ名ファイル22は、利用者が一度メールを同報送信（CC、Bcc等）した時、当該複数の宛先に統一したグループ名221を付与して管理しておくファイルである。グループ名は利用者が任意に付与する。再度、同じグループの相手にメールを同報送信する場合、利用者はグループ名ファイル22を表示し、該当グループ221を選択するだけでよい。

【0017】図4は、グループメールアドレスファイル23の構成例を示す図である。グループメールアドレスファイル23は、同一グループ内のメールアドレスを管理するファイルであり、図3のグループ名ファイル22に登録された各グループ名ごとに存在する。ここで、一つのグループメールアドレスファイルは、グループ名（グループID）230をファイル名として、一行が送信相手（宛先）の氏名欄231、送信種別（TO、CC、Bcc等欄1332）、およびメールアドレス欄233からなる。利用者がグループ名ファイル22の或るグループ名を選択した時、当該グループ名のグループメールアドレスファイル23が選択されて表示される。この場合も、メールアドレス一覧ファイル21の表示と同様に、メールアドレス欄233は非表示とする。また、

送信相手の氏名欄231は、送信種別欄232の「TO」、「CC」、「Bcc」の名区分により異なるカラー表示とする。

【0018】図5乃至図9は、本発明による送信用メールアドレス生成方法の一実施形態の全体的処理手順を示す。なお、この処理手順を記述したプログラム（送信用メールアドレス生成プログラム）は、あらかじめコンピュータ読み取り可能な記録媒体、例えばフロッピーディスクやメモ리카ード、コンパクトディスク（CD-ROM）などに記録して提供することが可能である。この記録媒体に記録された送信用メールアドレス生成プログラムを図2の主制御部1の内蔵メモリにインストールすることで、主制御部1の制御下でもって、利用者と対話形式で一連の処理が達成される。以下、図5乃至図9のフローチャートに従って説明する。

【0019】本送信用メールアドレス生成プログラムを起動すると、電子メール作成画面が表示装置5に表示される（ステップ501）。この画面には、メールアドレスの記入欄（TO、CC、Bcc等）、メール本文の記入欄の他に、宛先メールアドレスをメールアドレス一覧ファイル21から選択するボタン（メールアドレス一覧選択ボタン）、および、グループメールアドレスファイル23から選択するボタン（グループアドレス選択ボタン）が設けられている。メールアドレスが直接入力されるか否か判定し（ステップ502）、直接入力される場合は、該入力されたメールアドレスをそのままメールアドレス記入欄に挿入していく（ステップ503）。これは、従来のメールアドレス生成と同様であるが、ステップ503では、この入力されたメールアドレスをメールアドレス一覧ファイル21に新規に登録するようにしてもよい。一方、メールアドレス一覧選択ボタンが選択された場合には①に進み、グループ選択ボタンが選択された場合には②に進む（ステップ504）。

【0020】はじめに、メールアドレス一覧選択ボタンが選択された場合について説明する。メールアドレス一覧選択ボタンが選択されると、記憶装置2からメールアドレス一覧ファイル21を読み出し、表示装置5に表示する（ステップ511）。この時、メールアドレス欄214は非表示とし、氏名欄211、チェックボタン欄212、メモ欄213のみを表示する。なお、一つの画面に表示しきれない場合には、スクロールや次頁等の機能を利用する。このメールアドレス一覧画面には、送信種別（TO、CC、Bcc）を選択するボタン（送信種別選択ボタン）、および、該当メールアドレス一覧画面で選択したメールアドレスをグループ登録するかどうか指定するボタン（グループ登録ボタン）が設けられている。

【0021】利用者は、メールアドレス一覧画面上で、メールを送信したい宛先を、当該氏名欄211の隣りのチェックボックス欄212をクリックすることにより順次選択するとともに、その送信種別（TO、CC、Bcc）を送信種別選択ボタンにより選択する。利用者が、

チェックボタン欄をクリックし、送信種別を選択すると（ステップ512）、メールアドレス一覧画面上の当該チェックボックス欄にチェックマークを表示し、当該氏名欄を、選択されたTO、CC、Bccごとに色分け表示する（ステップ413）。図10に、この状態のメールアドレス一覧画面の具体例を示す。なお、メールアドレス一覧表示画面のチェックボックス欄にチェックマークの付された行を自動スクロールし、送信種別の区分順に並べ替えて表示するようにしてもよい。更に、利用者は、この選択した宛先のメールアドレスをグループ登録する場合、グループ登録ボタンを選択しておく。

【0022】利用者がメールアドレス一覧画面の宛先選択結果を確認してOKボタンすると（ステップ514）、電子メール作成画面に戻り（ステップ515）、メールアドレス一覧画面のチェックマークが印された行のメールアドレスを、送信種別の選択に対応してTO、CC、Bccの該当欄に挿入する（ステップ516）。

【0023】ここまで、メールアドレス一覧ファイル21を利用した送信用電子メールアドレス生成処理が終了となり、メールアドレス本文処理送信処理に選択が、これは本発明と直接関係がないので説明を省略する。

【0024】その後、先のメールアドレス一覧画面でグループ登録ボタンが選択されているか判断し（ステップ517）、選択されていれば③に進み、次のようにしてグループ登録が行われる。

【0025】まず、表示装置5にグループ名入力画面を表示する（ステップ521）。利用者が入力装置4より適当なグループ名を入力すると（ステップ522）、それを記憶装置2のグループ名ファイル22に追加する（ステップ523）。

その後、先のメールアドレス一覧画面においてチェックマークの印された各行を集めて新規にグループメールアドレスファイル23を作成し（ステップ524）、入力されたグループ名をファイル名として記憶装置2に格納する（ステップ525）。なお、送信種別（TO、CC、Bcc）は、メールアドレス一覧画面上の色別表示から区分する。

【0026】次に、電子メール作成画面でグループ選択ボタンが選択された場合について説明する。グループ選択ボタンが選択されていると、記憶装置2からグループ名ファイル22を読み出して表示装置5に表示する（ステップ531）。利用者が所望のグループ名を選択すると（ステップ532）、該選択したグループ名をファイル名とするグループメールアドレスファイル23を記憶装置2から読み出して表示装置5に表示する（ステップ533）。この時、メールアドレス欄233は非表示とし、氏名欄231は送信種別欄232の区分に応じて色分け表示する。利用者は、表示されたグループメールアドレス一覧をそのまま利用する場合はOKボタンを選択し、変更する場合は変更ボタンを選択する（ステップ5

34)。

【0027】OKボタンが選択された場合、電子メール作成画面に戻り(ステップ535)、選択されたグループメールアドレスファイルのメールアドレスを、送信種別の区分に対応して該当するメールアドレス欄に挿入する(ステップ536)。これで、所望当先の送信用電子メールアドレス生成処理が終了となり、メール本文作成・送信処理に進む。

【0028】一方、変更ボタンが選択された場合、記憶装置2からメールアドレス一覧ファイル21を読み出して、当該選択されたグループメールアドレスファイル23と照合し(ステップ541)、該グループメールアドレスファイル23に登録された氏名の行のチェックボックスにチェックマークを印した後、該メールアドレス一覧を表示装置5に表示する(ステップ542)。利用者は、このメールアドレス一覧画面上で、チェックマークの追加や削除、あるいは新規宛先の登録を行う(ステップ543)。OKボタンを選択すると(ステップ544)、メールアドレス一覧画面においてチェックマークの印された各行を集めて、改めてグループメールアドレスファイル23を作成し、先に選択されているグループメールアドレスファイル23を上書きする(ステップ546)。その後、電子メール作成画面に戻り(ステップ547)、該変更されたグループメールアドレスファイルのメールアドレスを、送信種別の区分に対応して該当するメールアドレス欄に挿入し(ステップ548)、メール本文作成・送信処理に進む。そして、最後に変更後のグループメールアドレスファイルと記憶装置2上のメールアドレス一覧ファイル21を突き合せ(ステップ549)、該メールアドレス一覧ファイル21も更新しておく。

【0029】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、普段見ない電子メールの送信先メールアドレスを直接使用することなく、送信したい相手の名前を用いるので、親近感が増し、かつ日常良く見られた名前を使用す\*

\*るので、送信間違いの大幅な減少が期待できる。また、氏名の一覧表を利用することから、複数の送信先の選択も容易に出来、かつ選択間違いもその場で容易に確認ができることから、初心者でもスムーズな送信選択が可能となるなど、楽しみながらの電子メール活用が期待できる。また、グループ名を使用する場合においても、グループ内の任意の送信先の一部を追加削除することがクリック一つで行なえるので、臨機応変の対応が簡単に可能になることが期待できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の送信用電子メールアドレス生成方法を実現するシステム構成図である。

【図2】メールアドレス一覧ファイルの構成例を示す図である。

【図3】グループ名ファイルの構成例を示す図である。

【図4】グループメールアドレスファイルの構成例を示す図である。

【図5】本発明の送信用電子メールアドレス生成方法の一実施形態を示すフローチャートである。

【図6】図5の続きのフローチャートである。

【図7】図6の続きのフローチャートである。

【図8】図7の続きのフローチャートである。

【図9】図8の続きのフローチャートである。

【図10】メモリアドレス一覧表示画面の一例である。

【符号の説明】

- 1 主制御部(CPU)
- 2 記憶装置
- 21 メールアドレス一覧ファイル
- 22 グループ名ファイル
- 23 グループメールアドレスファイル
- 3 入出力制御部
- 4 入力装置
- 5 表示装置
- 6 通信装置
- 7 通信回線

【図2】

【図3】

【図4】

・メールアドレス一覧ファイル 21

・グループ名ファイル 22

・グループメールアドレスファイル 23

氏名	211	212	213	214
坂本 幸		NTT情報研知信部	〒100-0001	〒100-0001
坂本 幸		関西ネットワーク	〒100-0001	〒100-0001
小松 秀雄			〒100-0001	〒100-0001
金見 敏子			〒100-0001	〒100-0001
藤守 俊行			〒100-0001	〒100-0001

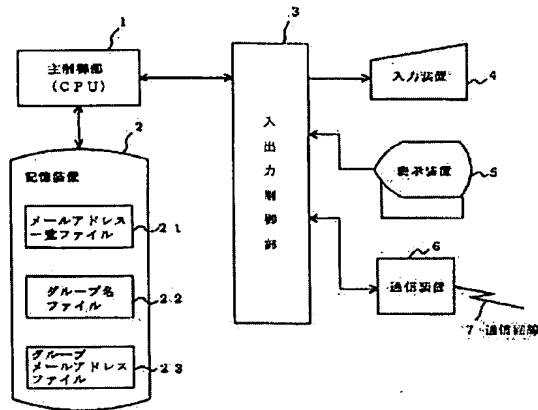
注) メールアドレス欄は非表示

グループ名	221
あすなろ	
さくら	
...	

氏名	230	231	232	233
坂本 幸	TO	〒100-0001	〒100-0001	〒100-0001
小松 秀雄	TO	〒100-0001	〒100-0001	〒100-0001
金見 敏子	CC	〒100-0001	〒100-0001	〒100-0001
藤守 俊行	Bcc	〒100-0001	〒100-0001	〒100-0001

注) メールアドレス欄は非表示

【図1】



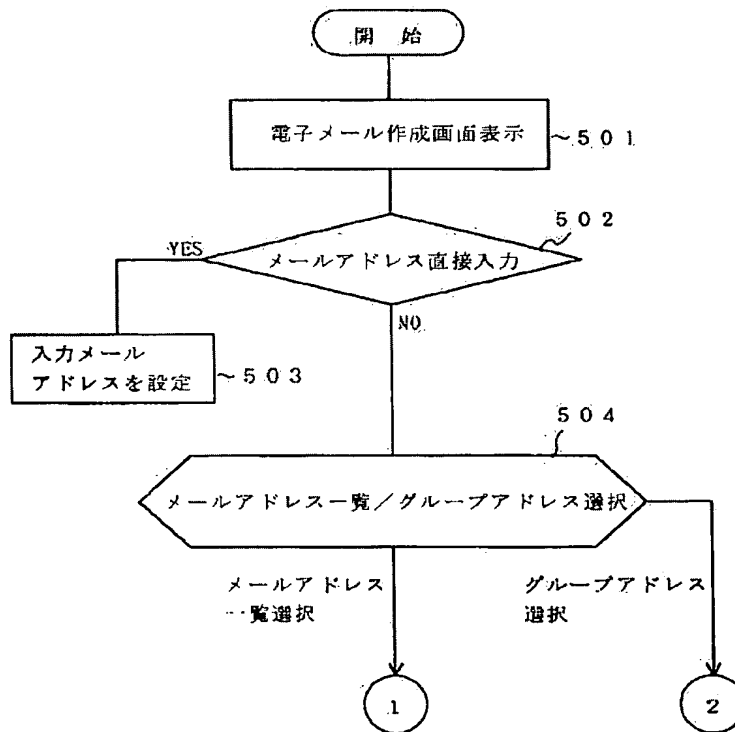
【図10】

〔グループ名 あすなろ〕

氏名		メモ
山田太郎	✓	N.T.T.情報研知信部
坂本 聡		関西ネットワーク
山田 太郎		
外田正樹	✓	
辻本 雅彦		
関分 敬彦		
谷本 隆子	✓	
高橋 孝		
藤子 良子	✓	

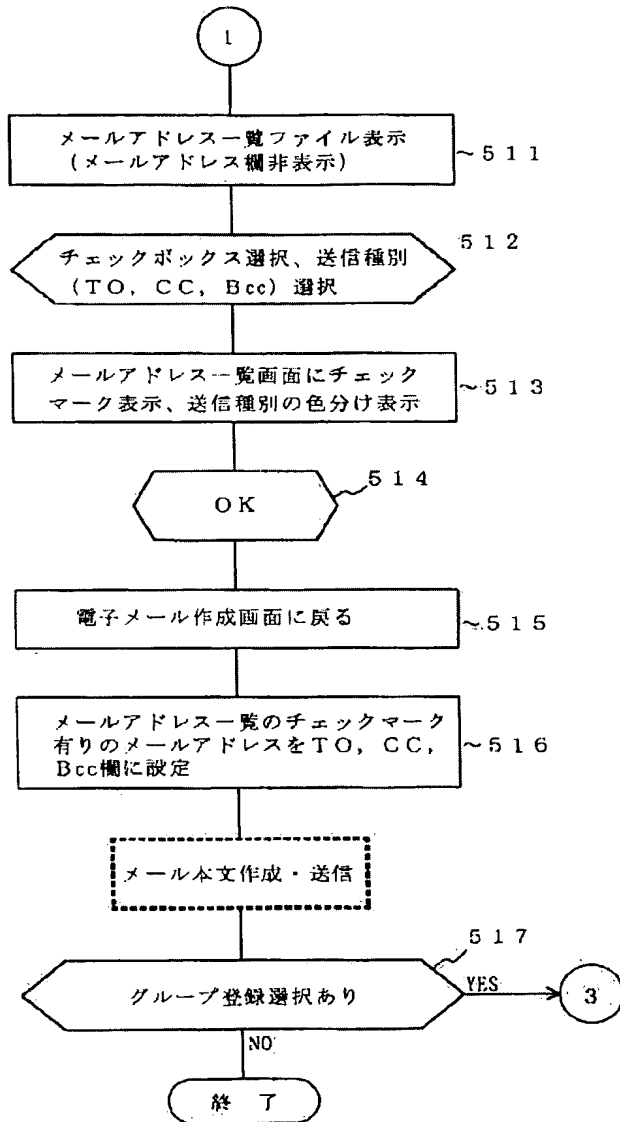
(赤) : TO  
 (黄) : CC  
 (青) : Bcc

【図5】

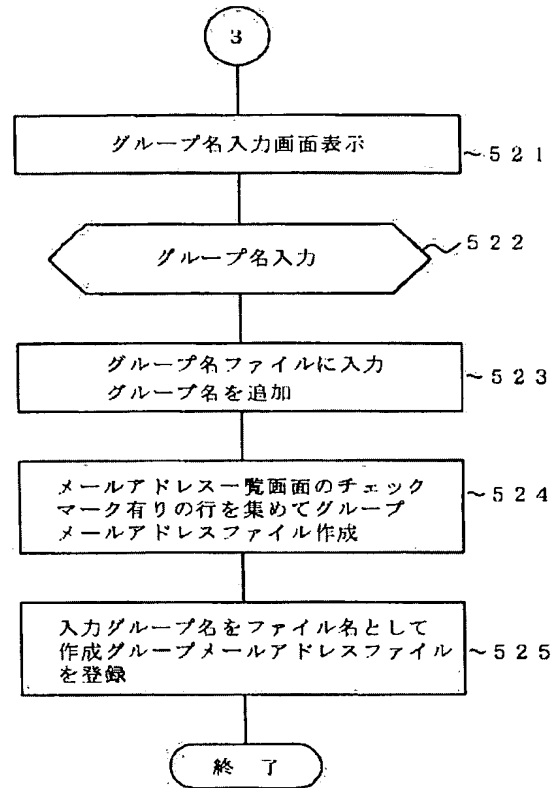




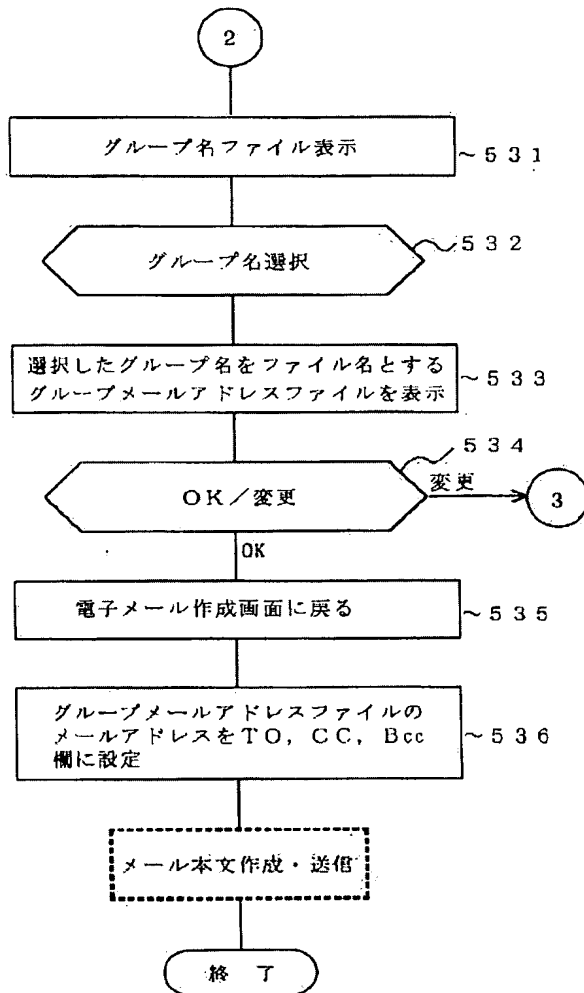
【図6】



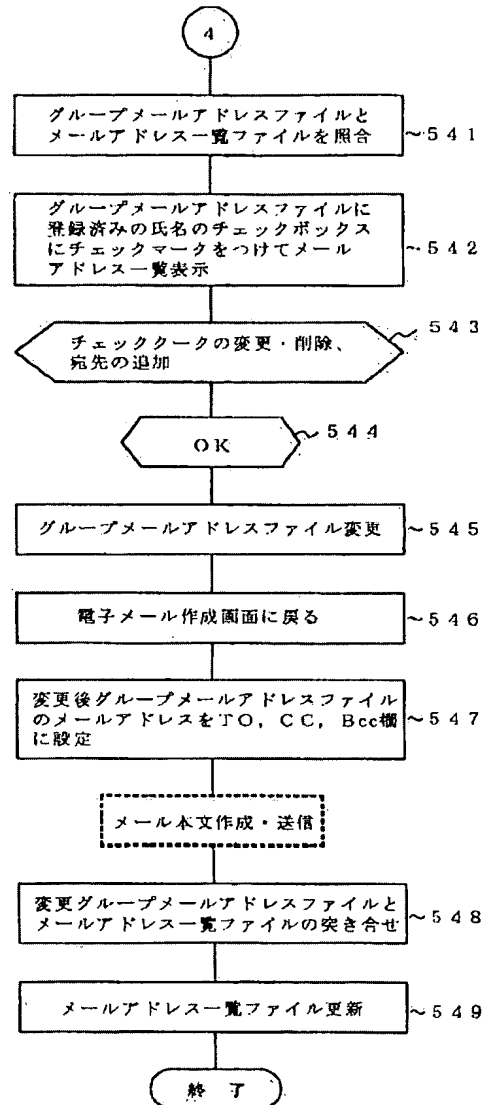
【図7】



【図8】



【図9】



フロントページの続き

(51) Int. Cl. <sup>6</sup>

識別記号

F I

H 0 4 L 12/58